

## 第6学年 国語科 学習指導案

対 象 第6学年1組 児童 25名  
 指導者 高橋 哲  
 対 象 第6学年2組 児童 26名  
 指導者 鈴木 悠大

1 単元名 「今、私は、ぼくは」

2 単元の目標

話の構成を考えたり、資料を活用したりして、考えが伝わるように表現を工夫することができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①日常的に使われる敬語を理解し、使っている。 ②話し言葉と書き言葉の違いに気付き、使い分けている。	①話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別し、話の構成を考えている。 ②活用しやすい資料を作成するなどして、考えが伝わるように表現の仕方を工夫している。	①発表に関する資料を積極的に活用している。 ②学習計画を立て、見通しをもって学習に取り組んでいる。

4 単元指導計画

次	時	学習活動	知・技	思・判・表	態
1	1	これまでの小学校生活を想起し、将来、どんな自分でありたいかを考える。	① ワークシート		② 観察
2	2	スピーチの話題と内容を決め、構成を考える。		① ワークシート	① 観察
	3 本時	発表に必要な資料を準備する。		② ワークシート	
	4	スピーチの練習をする。		② ワークシート	② 観察
	5	スピーチの会を開く。	② 観察		① 観察
3	6	学習を振り返る。	② ワークシート		② ワークシート

5 本時のねらい (第3/6時)

学習の進捗状況に合わせて、話の構成を考えたり、資料を活用したりして、思いや考えが伝わるように表現を工夫することができる。

6 本時の展開(1組)

	学習活動 ・予想される児童の反応	○指導上の留意点 ★評価
導入	1 前時の振り返りを読み合い、学習の進捗状況を共有する。 ・友達の表現から学んでみよう。 ・今回は、○○さんと一緒にやろう。	○スプレッドシートを活用することで、学習の進捗状況を示したり、参照し合ったりすることができるようにする。【Share】 ○振り返りを共有し、自分の進め方に生かすことができるようにする。【Share】
発表に必要な資料を完成させよう。		
展開	2 進捗に沿って、個人で学習を進める。 ・教科書を参考にしてまとめよう。 ・友達の振り返りを見て、進め方の参考にしよう。  3 進捗に沿って、個人で学習を進めたり、行き詰ったところを友達に聞きに行ったりする。 ・資料は分かりやすいか、友達に相談してみよう。 ・テーマが似ている人と一緒にやってみよう。	○スピーチメモや、資料メモの手本を提示することでゴールイメージをもてるようにする。【Think】 ○数種類のワークシートやデジタルワークシートを用意し、選択できるようにする【Think】【Select】 ○学習活動ごとに学習のポイントを示すことで、見通しをもって取り組めるようにする。 ○学習を深め、適切に表現している児童を紹介したり、教科書のポイントを確認するように促したりして、適切な方法で学習に取り組めるようにする。【Select】 ○状況に応じて、一部児童を集めて助言したり、全体に向けて情報共有したりして、工夫して学習に取り組めるようにする。 ★活用しやすい資料を作成するなどして、考えが伝わるように表現の仕方を工夫している。(スライド、ワークシート)
まとめ	4 学習の振り返りをする。	○スプレッドシートを用意し、他者を参照しながら本時に学んだことや考えを振り返ることができるようにする。【Think】

TSSに関する手だて

【Share】自分に合った方法で共有するための工夫  
毎時間の最後に、学習の振り返りを書き、児童同士で共有できるようにする。共用した内容を、本時の学習の進め方に生かし、友達に話を聞くことができるようにする。

【Think】自分に合った方法で考え、表現するための工夫  
発表の対象や目的を事前に伝え、視点を明確にして考えられるようにする。

【Think】自分に合った方法で考え、表現するための工夫  
資料作成の視点を明確にしたワークシートを紙ベース、データベースで示し、自分の考えを表現する助けとなるようにする。

【Select】自分に合った表現の仕方を選択するための工夫  
手本となる資料や文を示す。教材は、穴埋め式の物や自由度の高い物を用意し、自分に合ったものを選択させる。

【Select】自分に合った表現の仕方を選択するための工夫  
振り返りシートなどを参照し、互いのテーマや進め方が分かるようにし、参考にする相手を適切に選択できるようにする。

【Think】自分に合った方法で考え、表現するための工夫  
前述の学習のポイントに応じて振り返ることができるようにする。

5 本時のねらい（第3／6時）

学習の進捗状況に合わせて、話の構成を考えたり、資料を活用したりして、思いや考えが伝わるように表現を工夫することができる。

6 本時の展開（2組）

	学習活動 ・予想される児童の反応	○指導上の留意点 ★評価
導入	1 前時の振り返りを読み合い、学習の進捗状況を共有する。 ・友達の表現から学んでみよう。 ・今回は、〇〇さんと一緒にやろう。	○スプレッドシートを活用することで、学習の進捗状況を示したり、参照し合ったりすることができるようにする。 【Share】 ○振り返りを共有し、自分の進め方に生かすことができるようにする。 【Share】
発表に必要な資料を完成させよう。		
展開	2 進捗に沿って、個人で学習を進める。 ・教科書を参考にしてまとめよう。 ・友達の振り返りを見て、進め方の参考にしよう。  3 進捗に沿って、個人で学習を進めたり、友達と協働して取り組んだりする。 ・資料は分かりやすいか、相談してみよう。 ・テーマが似ている人と一緒にやってみよう。	○資料作成用のワークシートやデジタルワークシートを準備し、選択できるようにする。 【Think】【Select】 ○学習活動ごとに学習のポイントを示すことで、見通しをもって取り組めるようにする。 ○学習を深め、適切に表現している児童を紹介したり、教科書のポイントを確認するように促したりして、適切な方法で学習に取り組めるようにする。 【Select】 ○状況に応じて、児童を集めて助言したり、学級全体に向けて情報共有したりして、工夫して学習に取り組めるようにする。 ★話の内容が明確になるように、事実と感想、意見を区別し、話の構成を考えている。（スライド、ワークシート）
まとめ	4 学習の振り返りをする。	○スプレッドシートを用意し、他者を参照しながら本時に学んだことや考えを振り返ることができるようにする。 【Think】

TSS に関する手だて

【Share】自分に合った方法で共有するための工夫  
毎時間の最後に、学習の振り返りを書き、児童同士で共有できるようにする。共用した内容を、本時の学習の進め方に生かし、友達に話を聞くことができるようにする。

【Think】自分に合った方法で考え、表現するための工夫  
資料作成用ワークシートを紙ベース、データベースで示し、自分に合った方法で考え、表現することができるようにする。また、発表の対象や目的を事前に伝え、視点を明確にして考えられるようにする。

【Select】自分に合った表現の仕方を選択するための工夫  
参考資料や文を示すようにする。穴埋め形式や自由記述形式の教材を用意し、自分に合ったものを選択できるようにする。

【Select】自分に合った表現の仕方を選択するための工夫  
スプレッドシートなどを参照し、互いのテーマや進め方が分かるようにし、協働する相手を適切に選択できるようにする。

【Think】自分に合った方法で考え、表現するための工夫  
スプレッドシートを効果的に活用し、学習のポイントに応じて振り返ることができるようにする。